



# UN-HABITAT FUKUOKA OFFICE

## 国連ハビタット福岡事務所

2004年8月12日

### 国連ハビタット アフガニスタン「まちづくり」事業報告（広報資料）

国連ハビタット福岡事務所（アジア太平洋地域事務所）は、アフガニスタンを含む28カ国を管轄し、紛争後の再建復興事業やスラム改善事業などを実施しています。アフガニスタンに於いては、約15年間にわたり、住宅・道路の建設や水供給・衛生設備の整備などに積極的に取組み、地元住民達と取り組んできた事業は約50件になります。

この度、数ある事業の1つ、緒方イニシアチブ（地域総合開発支援計画）フェーズ3の活動が無事完了し、8月4日（水）ジャララバード、8月8日（日）カンダハルにて、それぞれ完成記念式典を執り行いましたので、お知らせ致します。尚、この式典には在アフガニスタン日本国大使館 駒野特命全権大使や各自治体団体の代表者や職員、受益住民、国連関係者を始め多くの関係者が参列しました。

国連ハビタットは、2002年11月より、日本政府が支援する緒方イニシアチブ（地域総合開発支援計画）のフェーズ2と3<sup>①</sup>において、水供給設備や衛生設備の整備などコミュニティのニーズに基づいた事業を担当しました。帰還民や国内避難民を含む地元住民の雇用創出を通して住民達の自立を促す本事業は、個々の生活改善を含む地域経済の再建に効果をあげ、地域総合開発に貢献しました。

アフガニスタンにおける事業は、国連ハビタット福岡事務所が実施する事業の中で、福岡を始めとする九州・沖縄地域で、最もご支援をいただいている事業でもあります。写真・受益者の声など詳細資料を別途支給可能ですので、報道各社の皆様方の取材をお待ちしております。

今後とも、国連ハビタットの活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

注1：

緒方イニシアチブフェーズ3「アフガニスタンまちづくり再建事業」

実施場所：カンダハル、ジャララバード、マザリシャリフ

実施期間：2003年5月から2004年4月まで(12カ月間)

目的： 居住改善事業による雇用創出。帰還民・国内避難民・夫を失った女性・復員兵など社会的弱者を対象とした仮設住宅・トイレ・道路・下水道建設支援、水供給システムの拡充

プロジェクト予算（日本国政府拠出額）：総額2,923,393米ドル

本件ご照会先：

国連ハビタット福岡事務所

（担当：佐藤、熊谷）

Tel：092-724-7121 Fax：092-724-7124

E-mail：habitat.fukuoka@unhabitat.org

URL：http://www.fukuoka.unhabitat.org